

2026年3月期 第1四半期決算説明資料



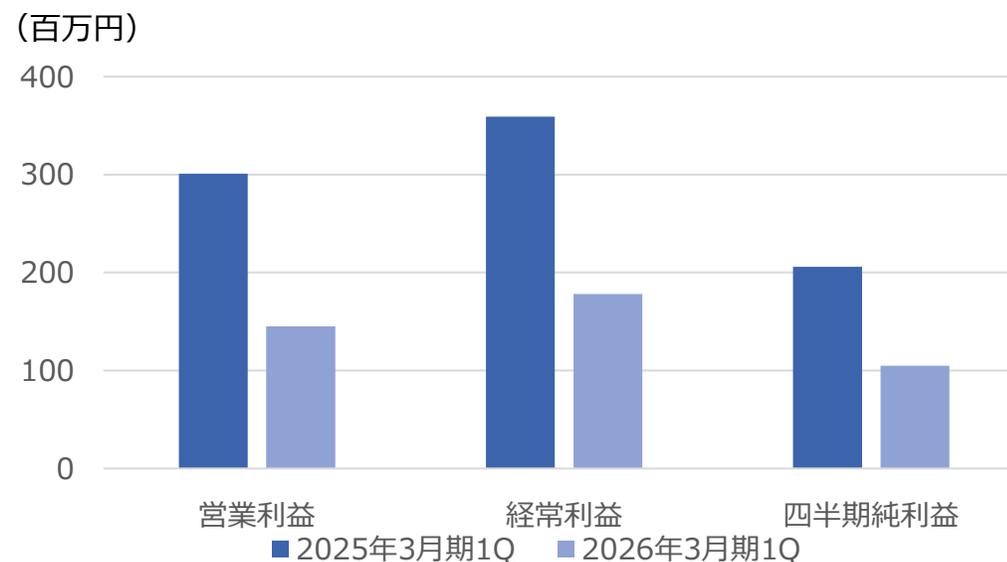
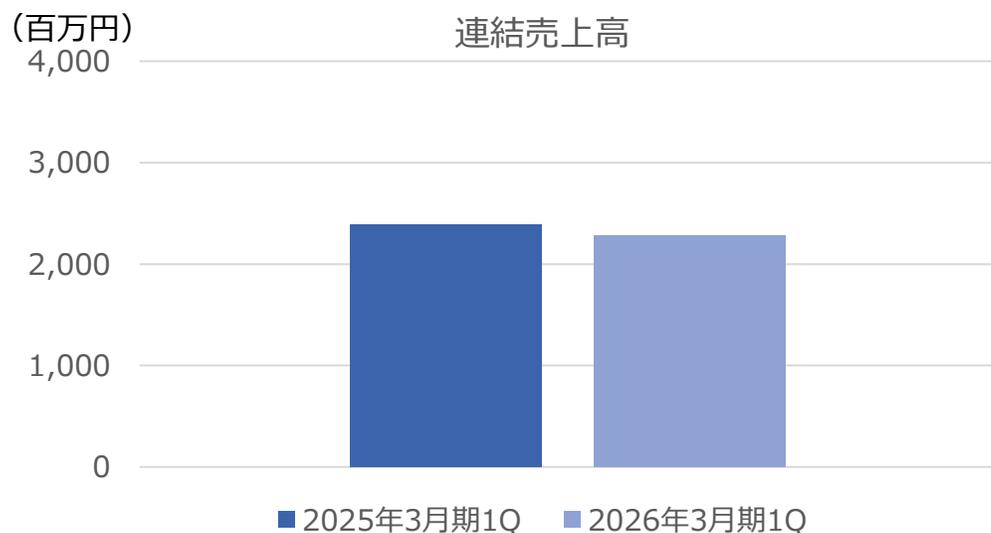
(証券コード：6863)
2025年8月8日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2026年3月期 第1四半期業績

(百万円)

	2025年3月期 第1四半期累計期間	2026年3月期 第1四半期累計期間	対前年増減率
連結売上高	2,389	2,283	▲4.5%
連結営業利益	301	145	▲51.8%
連結経常利益	359	178	▲50.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	206	105	▲48.9%



2026年3月期 第1四半期 セグメント別業績

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期累計期間 売上高	2025年3月期 第1四半期累計期間 セグメント利益	2026年3月期 第1四半期累計期間 売上高	2026年3月期 第1四半期累計期間 セグメント利益
制御機器事業	1,195	251	1,280	236
検査機事業	372	▲41	309	▲82
オプティクス事業	717	266	592	170
その他	104	▲8	101	▲8
調整額	-	▲165	-	▲170
合計	2,389	301	2,283	145

2026年3月期 第1四半期 業績概要

- **制御機器事業** : 鉄鋼・非鉄金属業界向け分野は販売好調。利益面についても対前期比増。機能性フィルム・軟包装分野は、二次電池業界から製造装置メーカーへの発注が停滞していることもあり売上高・利益ともに前年同期比で減少
この結果、事業全体では増収減益。受注残高は前期末比で増加
- **検査機事業** : 期初受注残高が低水準であり無地検査装置、食品検査装置の両分野で売上高・利益ともに前年同期比減。受注については両分野ともに回復傾向
- **オプティクス事業** : 光学部品の売上高は堅調に推移。レーザー装置の売上がひと段落したことなどから売上高・利益ともに前年同期比減。受注については、光学部品の受注は堅調に推移するもレーザー装置の新規受注が第2四半期以降となったことなどから、受注残高前期末比減

現時点の受注残高状況や、上期の売上が9月に集中する見込みであることなどから、期初の業績予想に沿った推移を想定

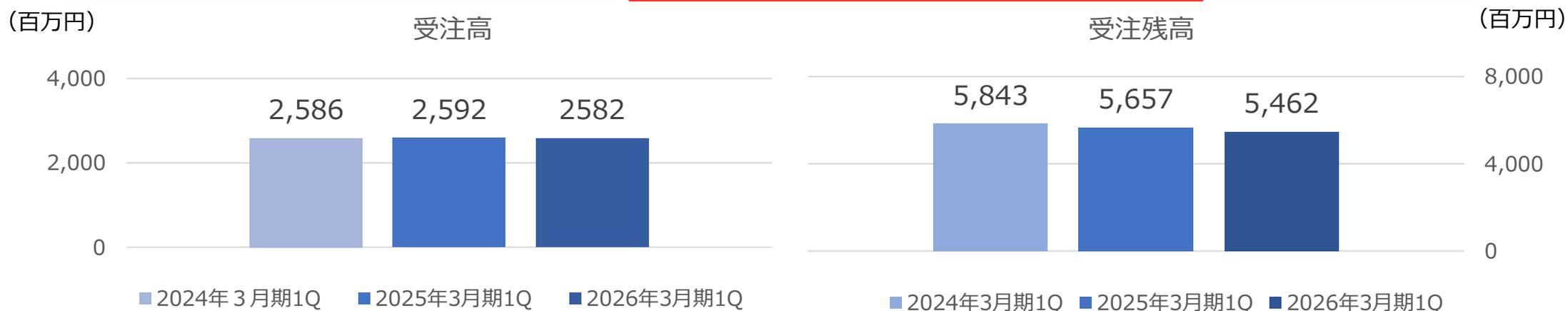
貸借対照表

(単位：百万円)

	25/3期		26/3期 第1四半期末		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	4,815	24.9%	4,557	24.4%	▲ 258
売上債権	4,411	22.8%	3,849	20.6%	▲ 562
棚卸資産	3,915	20.2%	4,096	21.9%	+ 181
その他流動資産	125	0.6%	148	0.8%	+ 23
流動資産	13,267	68.6%	12,651	67.7%	▲ 616
有形固定資産	3,970	20.5%	3,964	21.2%	▲ 6
無形固定資産	100	0.5%	88	0.5%	▲ 12
投資その他資産	2,014	10.4%	1,973	10.6%	▲ 41
固定資産	6,084	31.4%	6,025	32.3%	▲ 59
資産合計	19,352	100.0%	18,677	100.0%	▲ 675
買入債務	506	2.6%	393	2.1%	▲ 113
その他流動負債	1,446	7.5%	1,311	7.0%	▲ 135
流動負債	1,953	10.1%	1,705	9.1%	▲ 248
固定負債	726	3.8%	724	3.9%	▲ 2
負債合計	2,679	13.8%	2,429	13.0%	▲ 250
純資産合計	16,673	86.2%	16,247	87.0%	▲ 426
負債・純資産合計	19,352	100.0%	18,677	100.0%	▲ 675

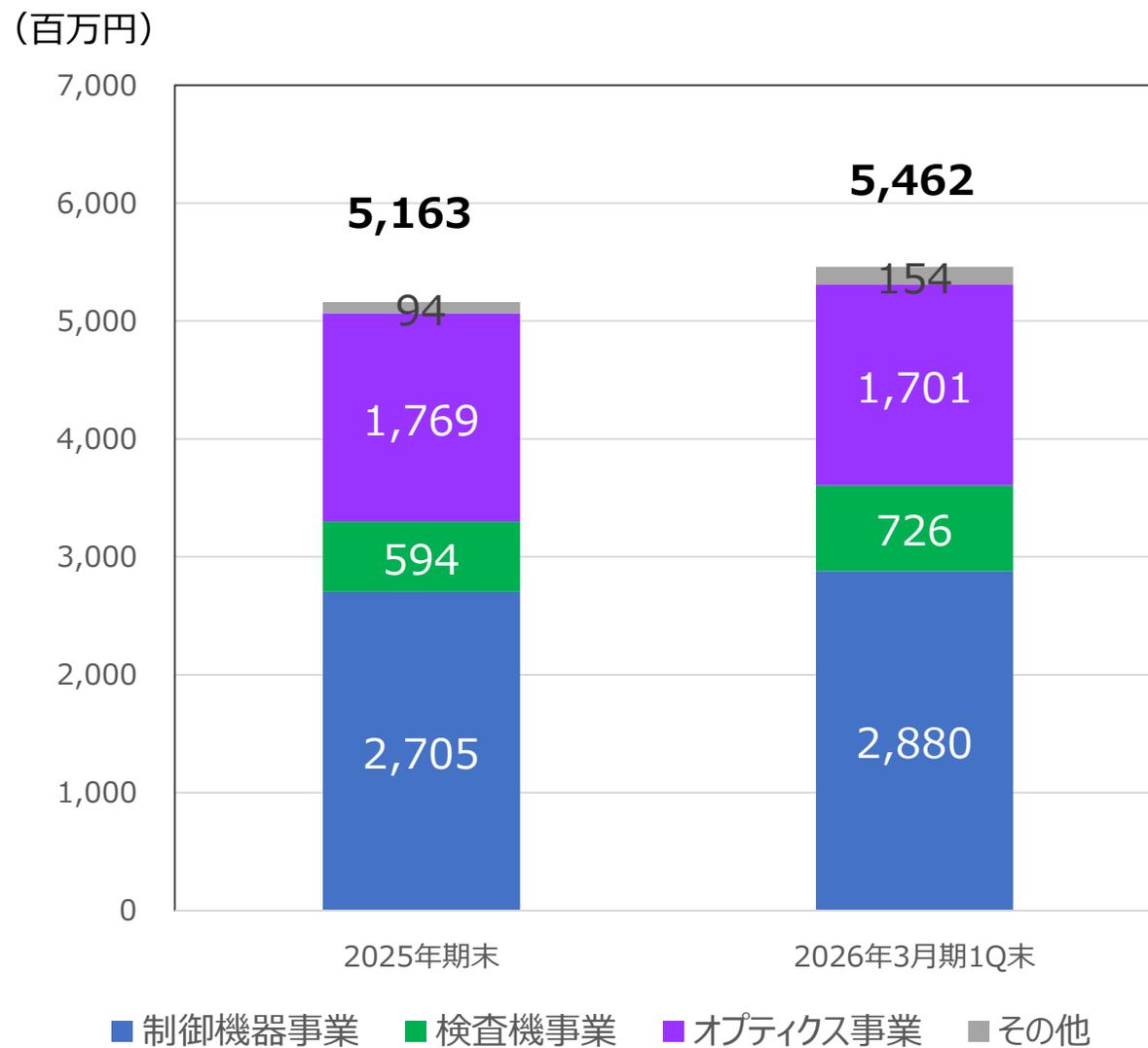
2026年3月期 第1四半期 受注高・受注残高

	2025年3月期 第1四半期累計期間	2026年3月期 第1四半期累計期間	対前年増減率	2025年3月期 (参考)
連結受注高 (百万円)	2,592	2,582	▲0.4%	10,465
連結受注残高 (百万円)	5,657	5,462	▲3.4%	5,163



2026年3月期 第1四半期 受注残高

	25/3 期末	2026年3月期 第1四半期 累計期間末
制御機器事業	2,705	2,880
検査機事業	594	726
オプティクス事業	1,769	1,701
その他	94	154
注残計	5,163	5,462



今期計画（期初計画から変更無し）

- 売上高は需要底堅く増収見込。営業利益については高水準の前期の反動減も高利益率維持
- 経常利益・当期純利益については、特別利益項目や税負担増などの影響から減益を想定
- 想定には米国の関税政策影響は織り込まず

（単位：百万円）

	25/3期 実績	26/3期 計画	増減率 実績比
受注高	10,465	10,700	+2%
売上高	10,756	11,000	+2%
営業利益	1,907	1,850	▲3%
営業利益率(%)	17.7%	16.8%	-
経常利益	2,028	1,950	▲4%
経常利益率(%)	18.9%	17.7%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,562	1,390	▲11%
当期純利益率(%)	14.5%	12.6%	-
1株当たり当期純利益(円)	211.11	187.52	▲11%
受注残高	5,163	4,863	▲6%

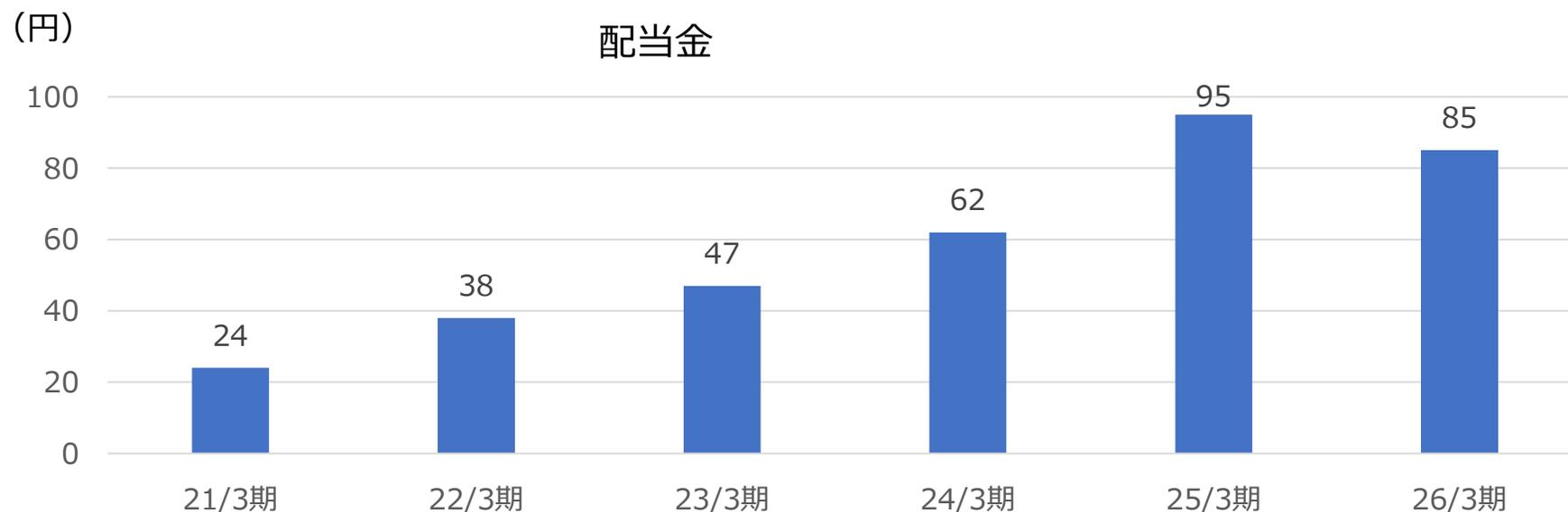
2026年3月期セグメント別見込

(百万円)

	2026年3月期 中間期売上高見込	2026年3月期 中間期 セグメント利益見込	2026年3月期 通期売上高見込	2026年3月期 セグメント利益見込
制御機器事業	2,750	540	5,800	1,210
検査機事業	750	40	1,800	170
オプティクス事業	1,450	500	2,850	1,100
その他	250	20	550	40
調整額	-	▲330	-	▲670
合計	5,200	770	11,000	1,850

株主還元について（期初予想から変更無し）

＜基本方針＞ 連結配当性向 45%以上かつ連結自己資本配当率 (DOE) 2.5%以上を目標



	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期(予)
1株当たり当期純利益(円)	59.06	55.41	117.40	137.36	211.11	187.52
配当金(円)	24	38	47	62	95	85
配当性向(%)	40.6	68.6	40.0	45.1	45.0	45.3
DOE	1.3%	2.0%	2.4%	3.0%	4.3%	3.7%

NIRECO

参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	中杉 真一
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所スタンダード
資本金	3,094百万円*
連結従業員数	466名*
連結売上高	10,756百万円*

* 2025年3月期連結

沿革

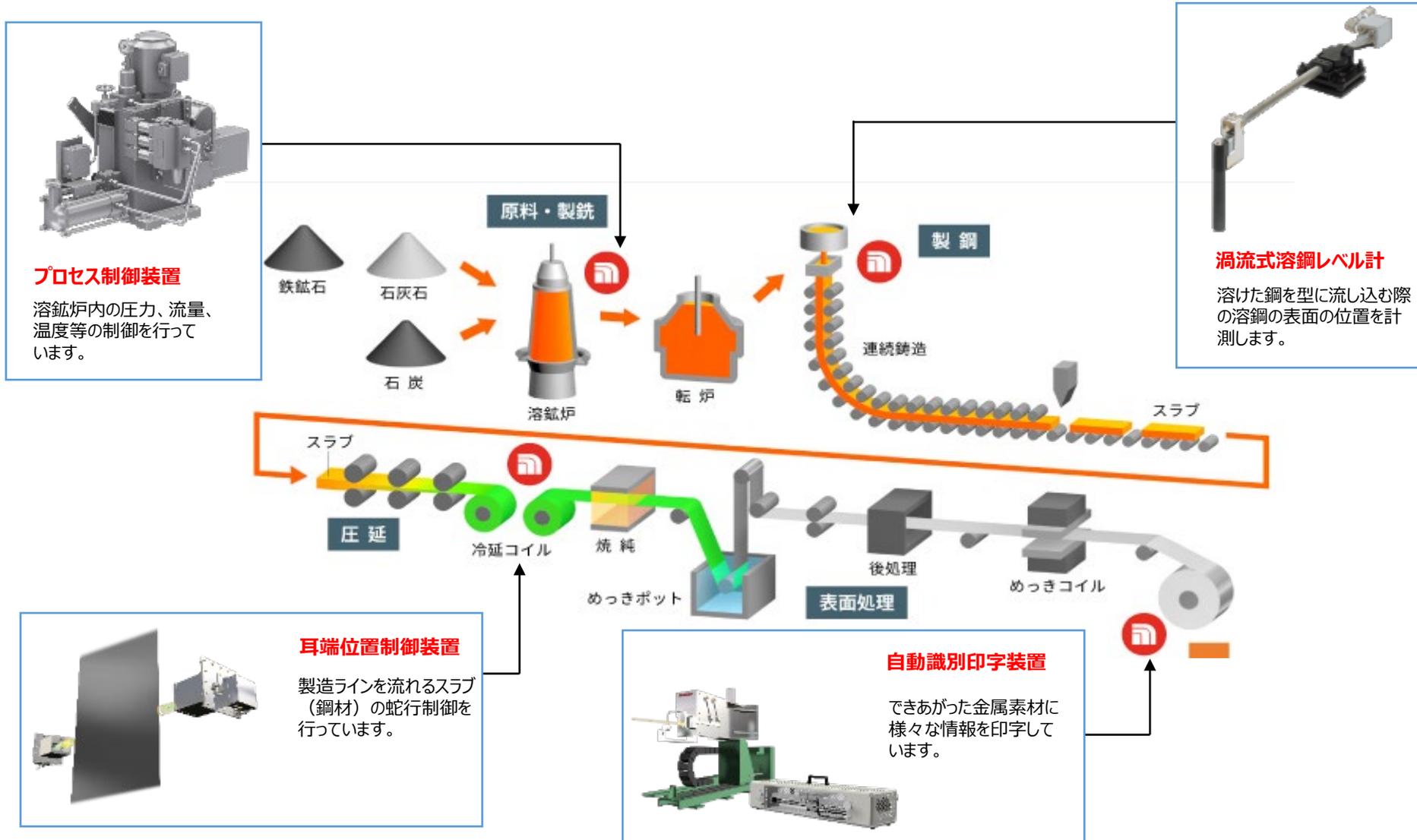
- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所に上場
- 2013年 : 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）上場に移行
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : 株式会社光学技研を子会社化
- 2021年 : 西武電機株式会社を子会社化
- 2022年 : 東京証券取引所の市場再編に伴い、スタンダード市場へ移行
- 2023年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が社名をNireco Korea Corporationへ変更
- 2024年 : ミヨタ精密株式会社を吸収合併
京浜光膜株式会社を子会社化

「技術と信頼」

われわれは、制御、計測、検査の技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。さらに、パートナーシップにより生み出した価値を広く社会に応用することで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

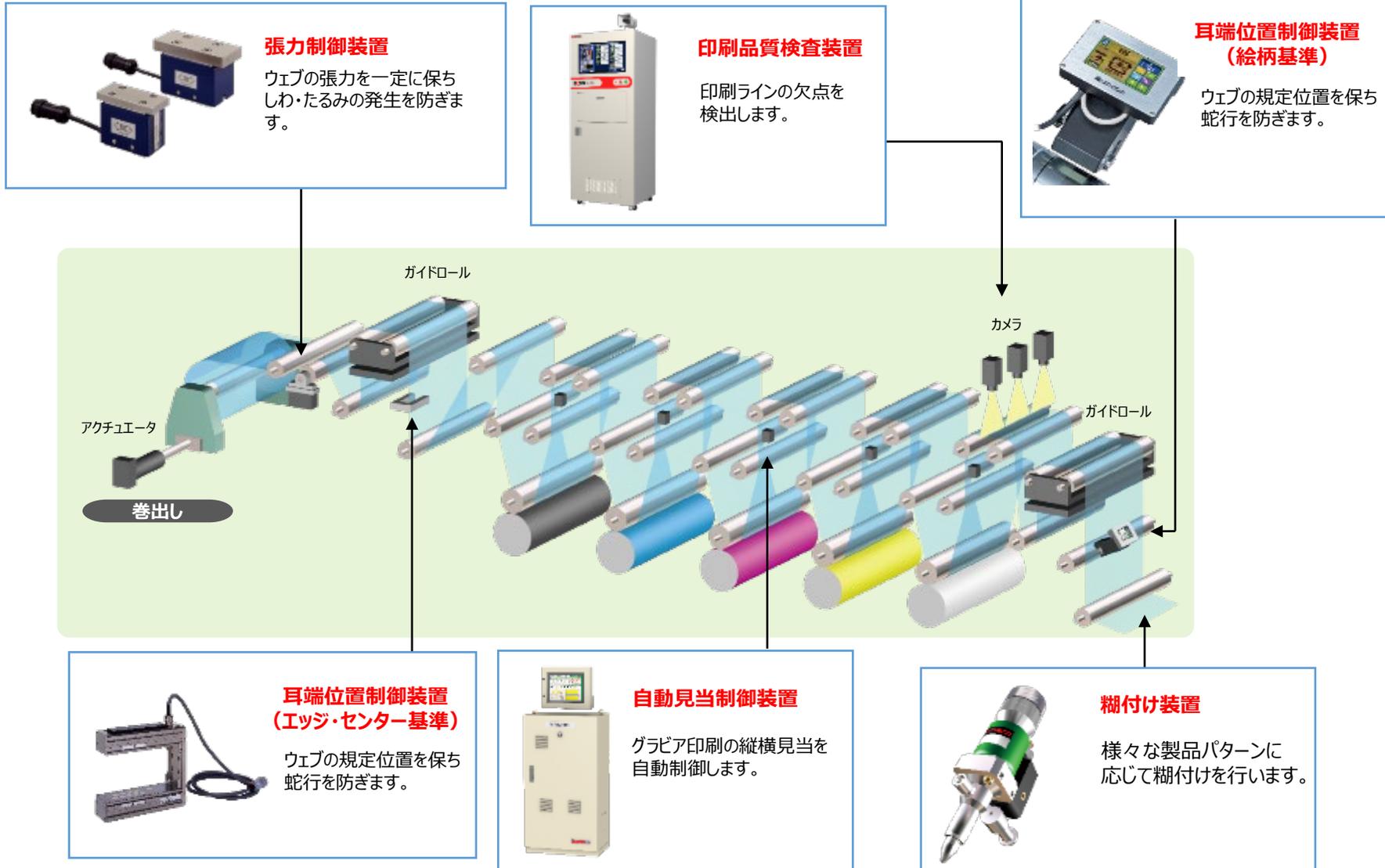
制御機器事業：鉄鋼・非鉄金属分野

鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業等あらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



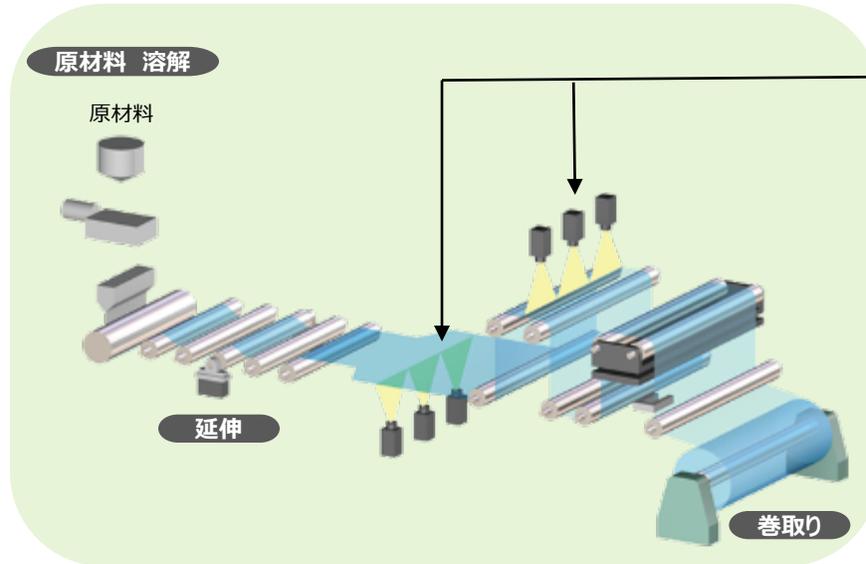
制御機器事業：機能性フィルム・軟包材分野

主に紙・フィルム・箔等薄いシート状素材（＝ウェブ）の位置制御装置等を扱う事業です。



検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）等を検査します。

選果装置

農産物の品質を外観（キズ、腐敗、サイズ等）、あるいは内部品質（糖度、酸度）から瞬時に非破壊で判別します。



光学事業

長年に渡り培ってきたレーザー関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品、京浜光膜株式会社で製造する先端分野向け光学薄膜製品を扱う事業です。

➤ 主要用途：

- 半導体検査装置
- 光学機器
- 医療機器

光学部品

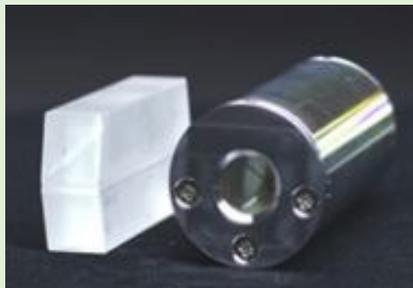


偏光子

特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザー用途等、幅広く提供しています。

非線形光学結晶

深紫外光への波長変換に適したCLBO素子を提供し、先端半導体検査装置等で用いられています。独自の加工技術で、世界の複数の半導体検査装置メーカーから高い評価を受けています。



レーザー関連製品



深紫外ファイバーレーザー Cygnus

深紫外ファイバーレーザーを用いたマスク検査を実現します。定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。

光学薄膜



光学フィルター、ミラー、AR、多層膜

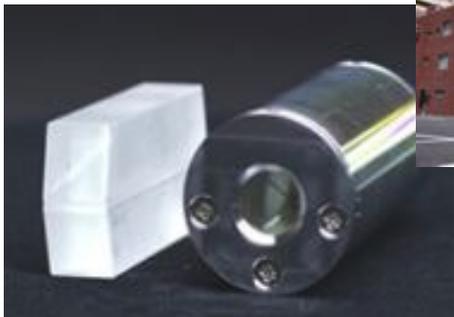
医療機器やレーザー機器、光通信機器といった多様な先端分野に向けて、高品質な製品を提供し、試作開発も請け負っています。

ニレコグループ企業 国内

セグメント オプティクス



オプティクス事業製品の開発、製造及び販売を行っています。
DUVレーザ装置の波長変換に利用されるCLBO結晶を、商用レベルで加工できるトップクラスの技術力を有します。



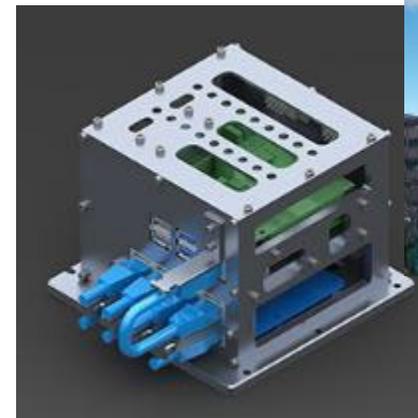
光学薄膜加工技術によるフィルター、ミラーの開発、製造及び販売を行っています。
広範な領域へ製品を提供し、試作開発も請け負います。



セグメント その他



電子機器、情報機器、各種機器の開発および製造を行っています。基板の設計から実装・試験までを請け負い、宇宙産業に参画する程の技術力を有します。



ニレコグループ企業 国外

尼利可自动控制机器（上海）有限公司 (ニレコ上海)

中国の上海市内にある当社子会社です。
当社製品全般にわたり製造、販売及び保守
サービスを行っています。



仁力克股份有限公司 (ニレコ台湾)

台湾の新北市内にある当社子会社です。
当社フィルム・印刷分野及び検査機事業
の製品を中心としてアジア地区における製
造及び販売を行っています。

Nireco Korea Corporation (NIK)

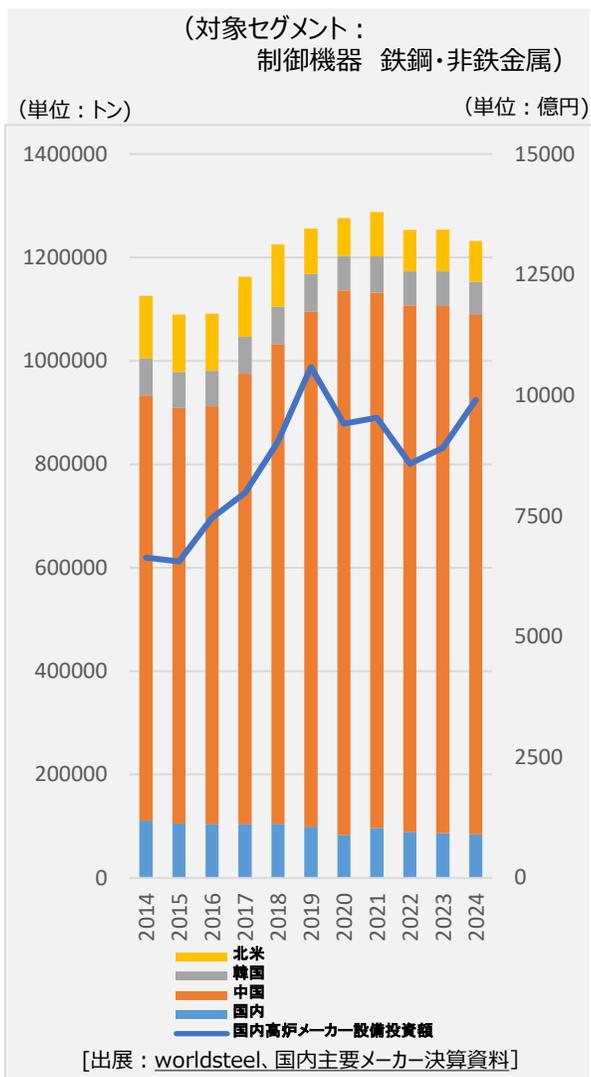
韓国の慶州市にある当社子会社です。
当社鉄鋼・非鉄分野の製品の製造、
販売及び保守サービスや検査装置の
販売を行っています。

株式会社ニレコ

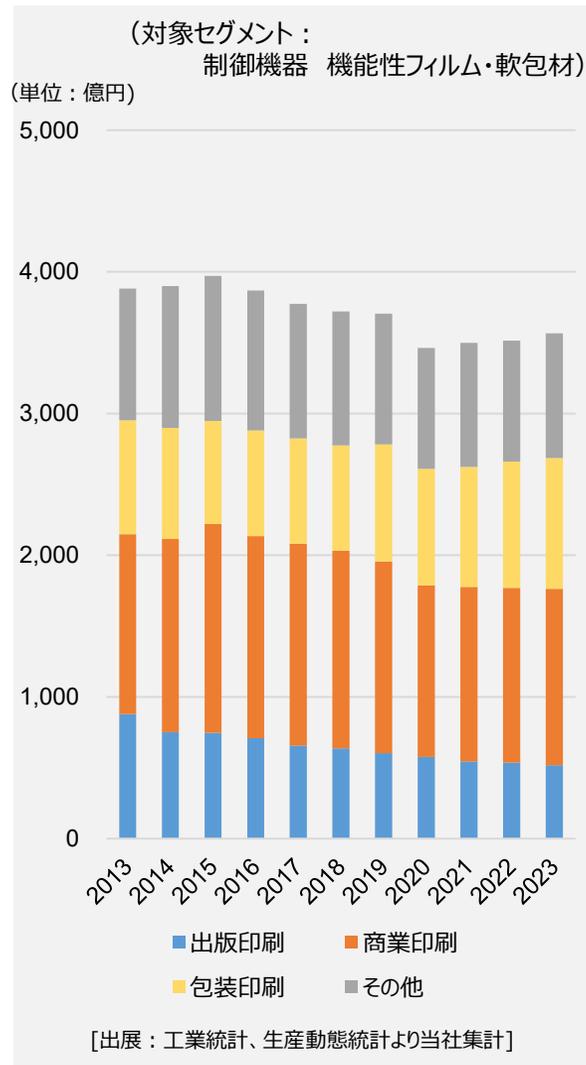


各事業市場動向

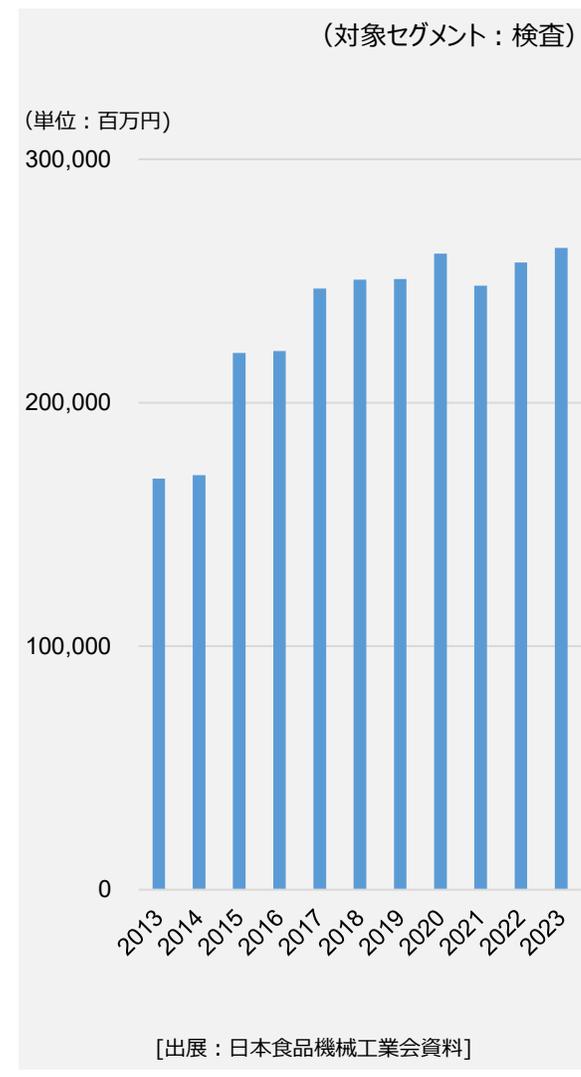
地域別粗鋼生産量及び 国内高炉大手設備投資額の推移



印刷市場規模の推移

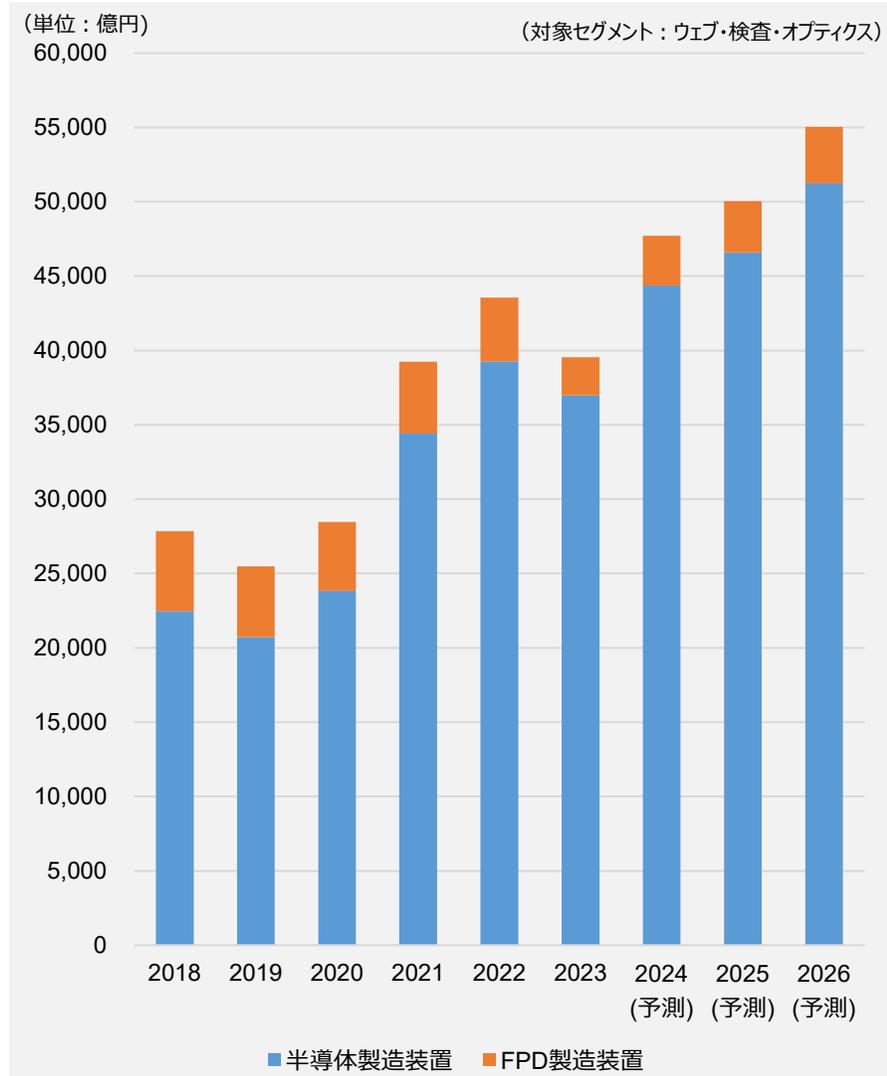


食品機械国内販売額の推移 (除、加工機械)



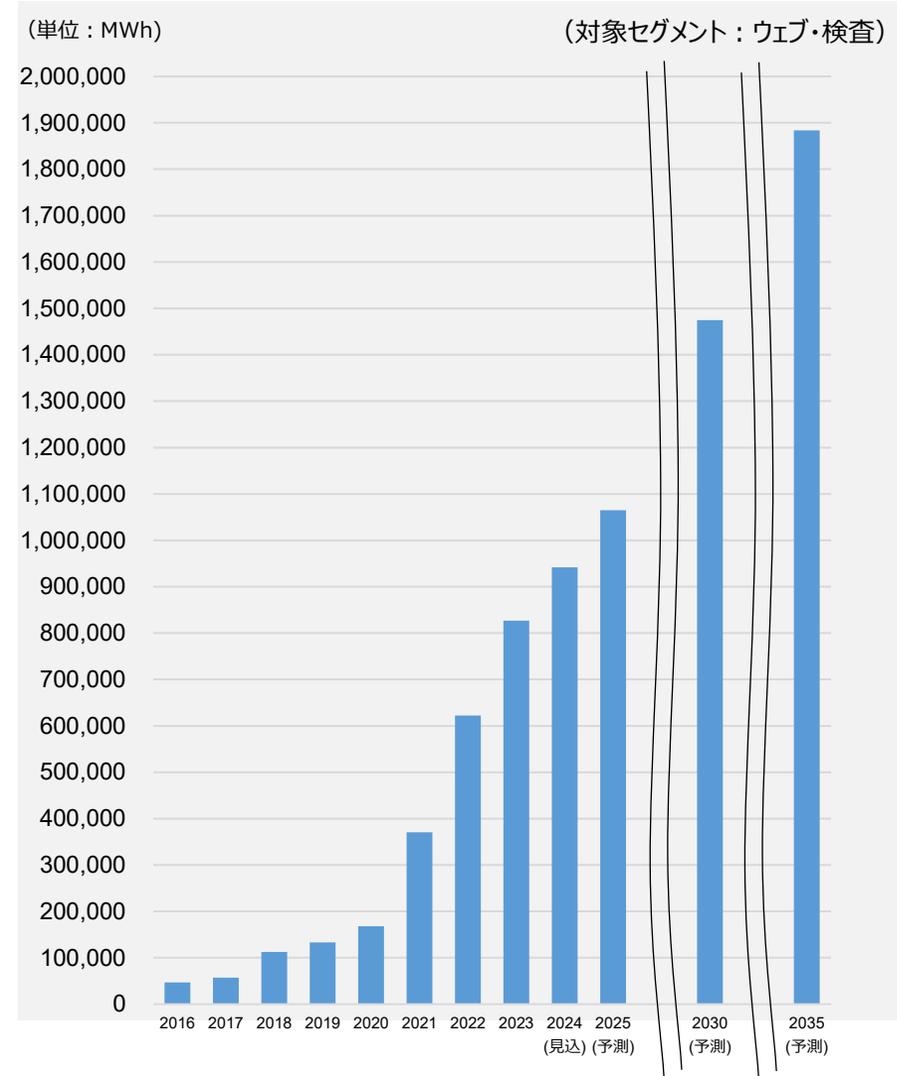
各事業市場動向

半導体・FPD製造装置需要予測



[出展：日本半導体製造装置協会]

車載用Lib世界市場予測



[出展：矢野経済研究所資料]

NIRECO